

都市フォーラム25号

東北都市学会通信（通巻25号）

2012年3月31日

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

目次

- ・東北都市学会 2011 年度大会（日本都市学会第 58 回大会併催）を開催
- ・2011 年度会員会を開催
- ・『研究年報』第 13 号自由投稿論文の募集
- ・石巻支部会、コロークを開催
- ・2012 年度石巻大会について
- ・事務局から

東北都市学会 2011 年度大会を開催

2011 年度大会は、2011 年 11 月 4 日(金)～6 日(日)にわたり、福島市にあるコラッセふくしまを会場として開催されました。第 1 日目はエクスカーション、第 2 日目は公開シンポジウム、研究発表、懇親会が行われ、第 3 日目は研究発表が行われました。



エクスカーション



瀬戸福島市長による講演



パネルディスカッション



懇親会

1 日目はエクスカーション『福島駅周辺のまちづくり』を行い、20 数名の参加がありました。2 日目にコラッセふくしまで行われた公開シンポジウム『震災と持続可能な都市づくり』には約 120 名の参加者があり、また懇親会も 50 名以上の盛況になりました。

日本都市学会との併催であったため、自由報告は 46 本（要旨集ベース）あり、熱心な質疑が交わされました。

3 日目の午後には東北都市学会理事会、会員交流会が行われ、次年度の石巻大会の紹介や今後の東北都市学会のあり方に関する議論が交わされました。

本大会は、福島大学と福島高専のスタッフおよび学生の協力体制のもとで開催されました。ご支援いただきましたみなさまに、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

2011 年度会員会を開催

2011 年度の会員会を 2011 年 11 月 6 日に開催しました。会員会の議事は次のとおりです。

1. 2010 年度事業報告
2. 2010 年度決算（案）*別紙参照
3. 2011 年度事業報告（案）
4. 2011 年度予算（案）*別紙参照
5. 次年度大会について
6. その他（会員の状況など）

報告事項では理事会、2010 年度大会、公開シンポジウムの開催、石巻支部会の報告、学会通信および研究年報の発行が報告されました。

『研究年報』第 13 号自由投稿論文の募集

過日発行されました『研究年報』第 11・12 号にひきつづいて、『研究年報』第 13 号の発行を予定しています。つきましては、自由投稿論文を募集いたします。第 13 号掲載用の原稿の〆切は、5 月末日必着とさせていただきます。

学会誌のコンスタントな発行と内容の充実をとおして、東北都市学会の一層の盛り上げを図ろうと考えておりますので、ふるってご応募ください。なお、上記に限らず自由投稿論文は随時受け付けています。「論文」、「研究ノート」、「フィールドノート」、「都市情報」、「書評」、「文献紹介」すべてのジャンルで受け付けます。

投稿にあたっては、研究年報各号に掲載しております[研究年報投稿規程]にしたがって原稿を作成のうえ、下記の東北都市学会事務局『研究年報』編集委員会宛にお送りください。

*従来のような紙媒体による投稿に限らず、WordかPDF形式の論文データを添付した電子メールによる投稿も受け付けます。

『研究年報』編集委員会

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科
松本行真研究室気付 Tel 0246-46-0850
E-mail matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp

石巻支部会を開催

東北都市学会では、齊藤美和子会員を中心に 2009 年 11 月 5 日に石巻支部会を再発足して以来、現在まで活発に会合が開催されております。

今年度はこれまで 3 回の支部会を開催しました。1 回目は 2011 年 7 月 19 日、2 回目は同年

10 月 18 日、3 回目は 2012 年 2 月 20 日にそれぞれ行われ、津波により大きな被害を受けた石巻市の復興・復旧、そして 2012 年度に開催される石巻大会に向けた議論が活発にかわされました。2012 年度第 1 回は 2012 年 5 月 7 日に開催予定です。詳細については後日 HP にてお知らせします。また、事務局の松本まで直接、お問い合わせ下さい。



第 2 回支部会

研究例会 COLLOQUE(19)を開催

2007 年 6 月 30 日(土)に仙台市「あすと長町」以来の研究例会コロークが 2012 年 3 月 3 日 14:00~17:00 に東北大学片平キャンパスさくらホール 2F で開催されました。テーマは「被災地支援のための地図情報の共有と活用」で、池田真幸氏(東北大学・学生)「東日本大震災における災害情報支援チームの活動報告—宮城県内の社会福祉協議会の支援—」、菅野拓氏(大阪市立大・院生)「東日本大震災緊急支援における GIS の活用とその後の人的支援スキーム—宮城県内での NPO による物資支援・仮設住宅支援を事例として—」による報告が行われ、会員以外にも参加があり、盛況のうちに終わることができました。

また、今年度は開催されませんでした。東北都市学会では、若手会員による研究交流をおした学会活性化を企図して、従来のコロークよりも小規模で気軽な集いとして「ミニ・コローク」を行っております。次年度の第 1 回ミニ・コロークが 2012 年の春に計画されております。詳細が決定され次第、HP に掲載いたします。参加を希望される方、ご関心をお持ちの方は、事務局までお問い合わせください。



研究例会コローク 19

2012 年度石巻大会について

次年度の東北都市学会大会は宮城在住理事が開催担当となります。研究専門委員会、理事会での議論を続けているところですが、次のような予定(案)で検討されています。

日時 : 2012 年 11 月 10 日(土)~11 日(日)

内容 : 公開シンポジウム、エクスカージョン、
研究発表

場所 : 石巻専修大学

テーマ : 震災復興と NPO(仮題)

大会運営ではご協力をお願いするところがあると思います。みなさまのご理解とご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

2011、12 年度会費納入のお願い

2011、12 年度の会費納入をお願いします。学会の活動は、会費によって支えられています。会員の皆様の迅速な納入をお願いいたします。うっかり滞納をされている会員もおられるかと思えます。納入にご協力ください。また、3 年以上滞納されている会員の方は年度末をもって除名される可能性がありますのでご注意ください。なお、会費請求書を同封いたしましたので、郵便振替あるいは銀行振込をご利用ください。会費は次のとおりです。

[会費]

一般個人会員

東北都市学会費 5,000 円 + 日本都市学会費 4,000 円 = 9,000 円

地域個人会員

東北都市学会費 5,000 円

一般学生会員

東北都市学会費 3,000 円 + 日本都市学会費 4,000 円 = 7,000 円

地域学生会員

東北都市学会費 3,000 円

団体会員

東北都市学会費 10,000 円 × 口数 + 日本都市学会費 4,000 円

[納入方法]

郵便振替 02250-2-42389 東北都市学会
郵便貯金口座 18140-27225001 東北都市学会
銀行口座 七十七銀行 仙台市役所支店
(普) 5253861 東北都市学会 会長 日野正輝

東北都市学会役員

会長 日野 正輝 【本部支部会長理事】

理事 北原 啓司 (青森)

理事 石沢 真貴 (秋田)

理事 佐藤 慎也 (山形)

理事 吉野 英岐 (岩手) : 編集担当

【本部支部選出理事】

理事 千葉 昭彦 (宮城)

理事 初沢 敏生 (福島)

理事 吉原 直樹

理事 岩動 志乃夫 : 研究活動担当

理事 高橋 英博 : 渉外担当

理事 佐藤 信夫

理事 佐藤 直由 : 会計担当 【本部監事】

理事 松本 行眞 : 庶務担当 【本部常任理事】

理事 仙台市 (担当 : 企画市民局総合政策部
政策計画課)

理事 仙台エリアマーク事業協同組合 (担当 :
松本真明)

監事 阿見 孝雄・高橋 早苗

顧問 古田 義弘

[任期 : 2010.10 - 2012.9]

都市フォーラム 25 号

東北都市学会通信

2011 年 (平成 24 年) 3 月 31 日発行

編集発行 東北都市学会事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30

福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科

松本行真研究室気付

Tel 0246-46-0850

E-mail matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp

URL <http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

2010年度 東北都市学会 決算報告

貸借対照表(2011年3月31日現在) 単位:円

科目	金額	科目	金額
現金	38,239	次年度繰越	126,857
郵便貯金	89,285		
銀行預金	-667		
合計	126,857	合計	126,857

収支計算書(自2010年4月1日 至2011年3月31日)

収入の部

単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 前年度繰越金	592,703	592,703	0	
2 会費収入	800,000	539,000	261,000	団体2、一般個人42、一般学生4、地域個人19
3 利息	100	131	-31	
4 広告収入	0	0	0	
5 年報代収入	0	0	0	
6 大会参加費	30,000	18,500	11,500	一般1,000円×17名、学生500円×3名
7 臨時的収入	0	0	0	
合計	1,422,803	1,150,334	272,469	

支出の部

単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 印刷費	660,000	364,045	295,955	200部 No.10
封筒	20,000			
学会通信	20,000			
研究年報	600,000			
発表要旨集	20,000			
2 郵送費	30,000	39,856	-9,856	フォーラム22号、23号、弘前大会案内に関する切手、宛名ラベル、封筒代
3 事務雑費	50,000	32,000	18,000	事務用品、事務アルバイト等
4 旅費	40,000	129,300	-89,300	理事会出席旅費
5 会議費	10,000	0	10,000	研究例会会場費
6 委託費	70,000	30,000	40,000	テープ起こし料
7 研究活動費	30,000	0	30,000	研究例会講師謝金等
8 大会運営費	100,000	98,276	1,724	2010年度弘前大会諸経費
9 ホームページ管理費	12,600	12,600	0	
10 日本都市学会会費	323,000	309,400	352,000	2010年度分(91×0.85×4000)
11 予備費	97,203	134,857	-37,654	
合計	1,422,803	1,150,334	272,469	

上記2010年度東北都市学会会計の決算を報告いたします。 2011年 7月 21日

東北都市学会会計担当理事 松本 行真

2011年3月31日現在の東北都市学会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

2011年 8月 31日

監事 阿見 孝雄

監事 高橋 早苗

2011年度 東北都市学会 予算案

収入の部

単位:円

科目	予算額	昨年度実績	摘要
1 前年度繰越金	134,857	592,703	
2 会費収入	800,000	539,000	団体5、一般90、地域27 納付率80%として算出
3 利息	100	131	
4 広告収入	0	0	
5 年報代収入	0	0	
6 大会参加費	0	18,500	日本都市学会福島大会と併催
7 臨時的収入	350,000	0	日本都市学会福島大会(日本都市学会本部から)
合計	1,284,957	1,150,334	

支出の部

単位:円

科目	予算額	昨年度実績	摘要
1 印刷費 封筒 学会通信 研究年報 発表要旨集	400,000	364,045	200部 No.11・12合併号
2 郵送費	40,000	39,856	切手代、宅急便等
3 事務雑費	40,000	32,000	事務用品、支払手数料等
4 旅費	50,000	129,300	理事会等出席旅費(第1回:メール、第2回:福島大会)
5 会議費	10,000	0	会議室借り上げ
6 委託費	50,000	30,000	テープ起こし(2009年度、2010年度の2大会分)
7 研究活動費	30,000	0	研究例会講師謝金等
8 大会運営費	300,000	98,276	2011年度福島大会(日本都市学会と併催)
9 ホームページ管理費	12,600	12,600	
10 日本都市学会会費	306,000	309,400	4,000円×90名×0.85
12 次年度繰越金	46,357	134,857	
合計	1,284,957	1,150,334	